

テーマ	①人材育成及び資質の向上について		
質問	(1)貴団体にて(又は他団体と協力して)行っている取組みがあれば、出来る限り詳しく教えてください。 (例)死体所見から死因を推定できたり、客観的な検案記録を記載できたりするような法医学的知識を身につけた臨床医の育成を目的とした研修会を、年1回開催している。	(2)課題があれば、教えてください。 (例)左記の研修会に参加する臨床医に偏りがあること。	(3)他団体と協力して実施したい取組み案があれば、教えてください。 (例)左記の研修会は、〇〇団体も参加できる内容なので、是非参加してほしい。
香川県医師会	日本医師会が主催して死体検案研修会(基礎)、(上級)を行っており、参加を呼び掛けている。日本医師会が主催して死亡時画像診断(Ai)研修会を行っており、参加を呼び掛けている。年1回「警察に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会および学術総会に参加し、他県の担当者とも意見交換を行い、その報告を香川県医師会警察医会総会で報告してきた。年1回香川県医師会警察医会の委員会、総会および講演会を開催してきた。その際には、県警察の担当者にも参加していただき、意見交換を行ってきた。	研修会や講演会を開催するための費用がなく、地域での人材育成が困難である。死体検案を行う医師の身分保障や報酬が未だに明らかでなく、今後新たな医師が参加できる状況にない。	他団体で行う研修会を、お互いに参加できるようにして、連絡を密にする。
香川県歯科医師会	身元確認研修会(H25年より年1回開催) 1回当たりの平均出席者数 ・歯科医師56名 ・医師2名 ・歯科技工士7名 ・警察33名 ・海上保安6名	参加会員に偏りがあること	香川大学法医学教室での検死・身元確認作業の見学
香川県警察本部	年数回、香川大学木下教授が神戸監察医務院にて稼働される機会に、県下警察署に勤務する若手警察官数名が教授に同行し、医学知識や検視技術の向上などを目的とした研修を受けている。	特になし	関係団体の関係者が集まり、各団体における失敗体験等を共有し、犯罪死の見逃し防止のために共通した認識をもつ会を設ける。(討論可能な少人数による協議会を望む)
香川大学医学部法医学	日本医師会の死体検案研修会の企画、講師派遣。受講者の見学実習受け入れ。警察庁警察大学校の法医専門研究科への講師派遣、大学研修受け入れ。近畿管区警察学校の検視実務専科への講師派遣。四国管区警察学校の講義。香川県警、岡山県警、兵庫県警の検視実務専科への講師派遣。海上保安庁の研修生受け入れ(科目履修生)。香川県医師会警察医会の研修会に講師派遣。郡市医師会の依頼による講師派遣。検察事務官、司法修習生対象の講義への講師派遣。他大学への非常勤講師の派遣。	医師を対象とした研修会では、新規の参加者が少ないこと。	現状を継続する。依頼があれば講師派遣。
第六管区海上保安本部	法医学研究生として年間1~2名を大学法医学教室に受け入れていただき、半年間の研修を受けさせている。また、県警の協力をいただき検視実務専科に聴講生として参加させていただいている。 歯科医師会が実施している研修会等にも積極的に参加している。	部署によっては実践機会が少なく、知識の維持が困難。	自治体や医師会が実施する研修会があれば参加したい。
高松地方検察庁	特に行っていません。	若手検察官の解剖立会件数が少ないと思われます。	若手検察官の経験不足を補うため、講義(法医学や検視の基礎的なもの)や事例検討(発表)会等の勉強会等があれば良いと思います。
香川県医師会警察医会	医師会員を対象とした法医学的講演会を郡市医師会で開催している。検案を実施した医師会員に対して、医会役員が入会を勧めている。県警と提携して検案業務の適正化を図っている。		
香川県歯科医師会警察歯科医会	香川県歯科医師会と同一	同左	同左
香川県健康福祉部	特に行っていない。	医療従事者や県民において、死因究明の必要性の認知が進んでいないのではないかと思います。	・死因究明等の重要性を医療機関(特に救急対応医療機関)や郡市医師会へ周知。 ・各団体の研修会について、後援や対象者への呼びかけ。

テーマ	②検案及び解剖等の実施体制の強化(資材の確保及び設備の増強)について		
質問	(1)貴団体にて(又は他団体と協力して)行っている取組みがあれば、出来る限り詳しく教えてください。 (例)災害時における「身元確認マニュアル」を策定し、身元確認時の留意点などをまとめている。同マニュアルに基づいた内容の訓練を〇〇団体と協力して実施している。	(2)課題があれば、教えてください。 (例)災害時の身元確認作業に必要な物資の備蓄をどうするか。	(3)他団体と協力して実施したい取組み案があれば、教えてください。 (例)有事に備えるために、日頃から関係機関の連携を図る機会を増やしたい。
香川県医師会	日本医師会が主催して死体検案研修会(基礎)、(上級)を行っており、参加を呼び掛けている。日本医師会が主催して死亡時画像診断(Ai)研修会を行っており、参加を呼び掛けている。年1回「警察に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会および学術総会に参加し、他県の担当者とも意見交換を行い、その報告を香川県医師会警察医会総会で報告してきた。年1回香川県医師会警察医会の委員会、総会および講演会を開催してきた。その際には、県警察の担当者にも参加していただき、意見交換を行ってきた。	解剖およびAiには多額の費用が必要であるが、当事者の家族に負担していただかなければならない場合がある。公費による援助を考慮する必要がある。	香川県と協力して、県民に対して死因究明の重要性の啓蒙を行っていきたい。
香川県歯科医師会	災害時における「身元確認マニュアル」を策定し、身元確認時の留意点などをまとめている。	実際の災害等発生時にシミュレーションどおりに稼働・任務遂行できるか?	有事に備えるために、関係機関との連携を図る機会を増やすとともに、総合的な訓練の実施をお願いしたい。
香川県警察本部	1 本部検視官を増員し(現体制は、8名4班運用、責任者は警視・警部の役職を置く)、県下の検視にはほぼ全件臨場することによって、犯罪死の見逃し防止対策を講じている。 2 検視時においては、簡易検査キットを用いて、尿による薬毒物検査等を実施すると共に、必要に応じて、検案医師に心臓血を採取してもらい、科学捜査研究所において、薬毒物検査を実施するなど異状死体の見逃し防止を行っている。	簡易検査キットは、1個3千円位と高額であるため、全ての検査に用いることが出来ない。	ほぼ県内の主要救急病院は、死後CTの撮影に協力的で、死因究明に大いに役立っているため、今後とも協力依頼をお願いしたい。
香川大学医学部法医学	香川県警の機材(装置)を借用することがある。	CTや薬物分析装置など大型機材の更新は常に課題であるが、改善の可能性が乏しいこと。	平時から各機関と連携・協力して、日々の業務に取り組んでいる。
第六管区海上保安本部	特になし	特になし	特になし
高松地方検察庁	特に行っていません。	特にありません。	特にありません。
香川県医師会警察医会	検案に対応可能な会員の獲得に努めている。		
香川県歯科医師会警察歯科医会	香川県歯科医師と同一	同左	同左
香川県健康福祉部	死因究明のための施設や設備の整備等を行う医療施設の事業に対する国の補助事業。【議題2:資料2】	県の厳しい財政状況の中で、死因究明等の設備増強に充てる予算の確保が難しい。	警察や大学法医学教室からいただいた死因究明により得られた情報を取りまとめ、県民へ普及啓発資料に利用したい。

テーマ	③その他	
質問	(1)協議会で話し合いたい内容があれば教えてください。(今回の協議会に限らない。)	(2)左記テーマに関わらず、ご意見等があれば教えてください。
香川県医師会	各団体で経験した重大な事案について、共有すべきものがあれば、持ち寄って協議し、資質の向上を図る。	死因究明等推進基本法が施行されることにより、国がより積極的に人的、物的な支援を行っていただけるように県からも要望していただきたい。
香川県歯科医師会		
香川県警察本部	災害発生時の各種懸案事項に対する協議(連絡網の構築、遺体安置所の指定など)	各方面で実施したい県予算が絡む事業の要望と意見の集約、及びその執行にむけた取組み方策
香川大学医学部法医学	協議会のあり方。	特になし。
第六管区海上保安本部		
高松地方検察庁	犯罪死の見逃し防止について。	特にありません。
香川県医師会警察医会		<p>県警の協力を得て、検案対象者の生活背景を分析し、高齢の独居者の生活状況を把握して孤独死の早期発見につながるシステムの構成に努力したい。 乳幼児死亡について解剖結果を通じて死亡予防策の資料を提供したい。</p> <p>【現在進行中の課題】 ①保育室を利用している乳幼児の寝相の実態調査 うつぶせ寝を禁止したらSIDSの発生率が低下したとされているが、うつぶせ寝をしている乳幼児を仰向けにしたら再びうつ伏せになることはないのか ②検案書から視える孤独死者の生活背景 医療あるいは福祉サービスを受けなくて死亡した人は社会資源の利用方法を知っていたのだろうか ③検案医が課題を設けて資料を収集することは可能か 検案書は県警で保管され、資料が一般社会に公開されていない部分がある</p>
香川県歯科医師会警察歯科医会	香川県歯科医師会と同一	同左
香川県健康福祉部	死因究明により得られた情報をどのように活用すべきか。	国や他県の動向を注視しながら、情報収集に努め、委員の方々と相談しながら、協議会の運営方針を検討していきたい。